

# DAX-IET02

## 取扱説明書

DAX-IET02(LAN ボード)は(株)デジタル製パネルコンピュータ(以下 PL と称します)用の NE2000 互換イーサネットボードです。Ethernet 10BASE-5、10BASE-2、10BASE-T インターフェイスを装備しています。DAX-IET02 は PL の ISA スロットに挿入して使用します。

旧タイプの DAX-IET02(1996 年 8 月以前製造で 10BASE-2 を装備していないもの)とは初期設定等が異なりますので、ご注意ください。

対応機種 : PL-5700 シリーズ / PL-6700 シリーズ / PL-X900 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Proface : (株)デジタル

MS-DOS、Windows95、WindowsNT : 米国マイクロソフト社

### 警告 安全に関する使用上の注意

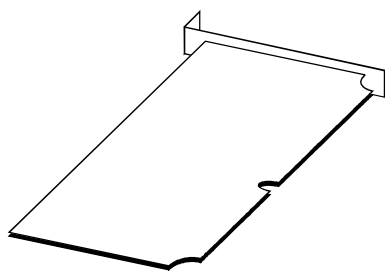
- ・ PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
  - ・ DAX-IET02 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 故障しないために
- ・ DAX-IET02 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
  - ・ DAX-IET02 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
  - ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。

- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 修理や改造を行わないでください(故障についてはボードの交換で対応いたします。部品単位での修理や不良解析はいたしません)。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。

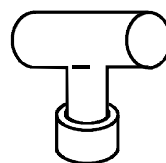
## 梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

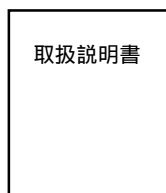
DAX-IET02 本体



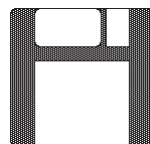
10BASE-2 用 T 型コネクタ 1 個



取扱説明書 1 枚 (本書)



ドライバディスク 1 枚



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

## 1

## ハードウェア仕様

## 機能仕様

バッファメモリ	16KB
使用コネクタ	D-SUB15ピン (AUI) コネクタ RJ-45モジュラジャックコネクタ BNCコネクタ
通信規格	IEEE802.3 (CSMA/CD方式) Ethernet
消費電力	+12V 500mA以内 *1 +5V 500mA以内

## 設定環境仕様

使用周囲温度	0 ~ 45
保存周囲温度	-10 ~ 60
耐ノイズ性	ノイズ電圧 : 1500Vp-p
	パルス幅 : 50ns、800ns、1 $\mu$ s
静電耐圧	5kV



- ・ PL-5700 シリーズ(3 スロットタイプ) でご使用になる場合は、下記スロットに装着してください。

< 10BASE-5 使用時 : 第1 スロット >

トランシーバ電源として規格上 500mA 必要であり、第2/ 第3 スロットでは容量不足となるため、トランシーバのスペックが 400mA 以下の場合は第2/ 第3 スロットでも使用可能です。

< 10BASE-2 使用時 : 第1 スロット >

第2/ 第3 スロットではT型コネクタが装着不可です。

< 10BASE-T 使用時 : 使用制限無し >

- ・ PL-6700 シリーズ でご使用になる場合は、下記スロットに装着してください。

< 10BASE-5 使用時 / 10BASE-T 使用時 : 使用制限無し >

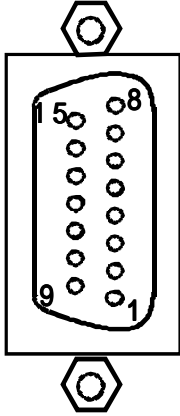
< 10BASE-2 使用時 : 第2/ 第3 スロット >

第1/ 第4 スロットではT型コネクタが装着不可です。

\*1 DC12V の消費電流は、10BASE-5 使用時のトランシーバ用の電源です(消費電流の値はトランシーバの違いにより多少異なります)。

## 2 インターフェイス仕様

### 10BASE-5 コネクタ

ピンコネクション	ピン番号	信号名	方向
	1	FG	-
	2	CD+	入力
	3	TX+	出力
	4	GND	-
	5	RX+	入力
	6	GND	-
	7	NC	-
	8	GND	-
	9	CD-	入力
	10	TX-	出力
	11	GND	-
	12	RX-	入力
	13	+12V	-
	14	GND	-
	15	NC	-

### 10BASE-2 コネクタ

BNC 同軸コネクタ(T 型コネクタ添付)

### 10BASE-T コネクタ

ピンコネクション	ピン番号	信号名	方向
	1	TX+	出力
	2	TX-	出力
	3	RX+	入力
	6	RX-	入力

## 4 割り込みレベルおよび I/O アドレス

IRQ	I/Oアドレス
3、4、5、9 10、11、12、15	200h ~ 21Fh
	220h ~ 23Fh
	:
	3C0h ~ 3DFh
	3E0h ~ 3FFh



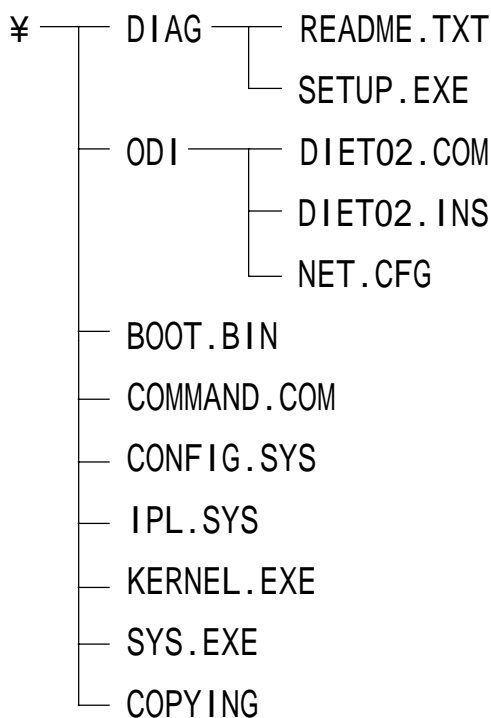
PL をご使用になる場合の  
推奨設定

IRQ : 5

I/O アドレス : 300h

付属のODI ドライバを使用する場合には、IRQ9、10、15とI/Oアドレス200h ~ 2FFhは使用できません。

## ドライバディスク



README.TXT ... 初期設定プログラムについての説明(英文)です。

SETUP.EXE .... 初期設定プログラムです。

DIET02.COM .. ODI ドライバです。

DIET02.INS .. インストール情報ファイルです。このファイルは、Net Ware® 付属の INSTALL プログラムを利用してODIドライバをインストールする際に必要です。

NET.CFG ..... 環境設定情報ファイル(NET.CFG)設定のサンプルです。

BOOT.BIN .... Free DOS システムファイルです。

COMMAND.COM Free DOS システムファイルです。

CONFIG.SYS . Free DOS システムファイルです。

IPL.SYS ..... Free DOS システムファイルです。

KERNEL.EXE . Free DOS システムファイルです。

SYS.EXE ..... Free DOS システムファイルです。

COPYING ..... GNU ライセンス(英文)

---

ドライバディスクはGNUライセンスによるFree DOSカーネルを含んでいます。ドライバディスクから起動し、初期設定プログラムを実行することができます。

Free DOSに関する情報は、「<http://www.freedos.org/>」をご覧ください。Free DOSに関するライセンス内容についてはドライバディスク内のCOPYINGをお読みください。

当社ではPLシリーズでの初期設定ツールの動作を確認していますが、その他の目的で使用された場合の動作は補償しかねます。

#### NDIS ドライバについて

NDIS対応ドライバは、NE2000コンパチブル用ドライバ(Microsoft® Lan Manager やWindows®95/WindowsNT® に付属しています)をご使用ください。

#### パケットドライバについて

パケットドライバは、NE2000コンパチブル用ドライバをご使用ください。

#### ODI ドライバについて

ODIドライバは付属フロッピーディスク内にあるものをご使用ください。

付属のODIドライバDIET02.COMは設定可能I/OアドレスおよびIRQに制限があります。I/Oアドレス300h～360h、IRQ3、4、5、11、12の範囲でご使用下さい。

#### < 環境設定ファイル >

環境設定ファイル(NET.CFG)は、Net Ware® 使用時のネットワークシステムの環境設定を行うファイルです。

サンプルのNET.CFGを参考にしてご使用環境に合わせて設定してください。

## 5 初期設定

DAX-IET02をPLでご使用になる前に以下の手順で初期設定を行ってください。

ドライバディスクをAドライブにセットします。

PLの電源をONします。

以下のように入力します。

```
A:\>DIAG\SETUP
```

セットアッププログラムが起動し、次の画面が表示されます。  
ボードの設定によっては表示されずに へ進む場合があります。

No PNP Operating System

Your LAN Adepter is currently set at Plug & Play mode. In this case, you must have Plug & Play BIOS or equivalent on your PC to work corrently.

If you do not have Plag & Play BIOS or equivalent on your PC, please set your LAN Adepter to JUMPERLESS(NE2000) mode. Otherwise, It will not work.

スペースキーを押します。

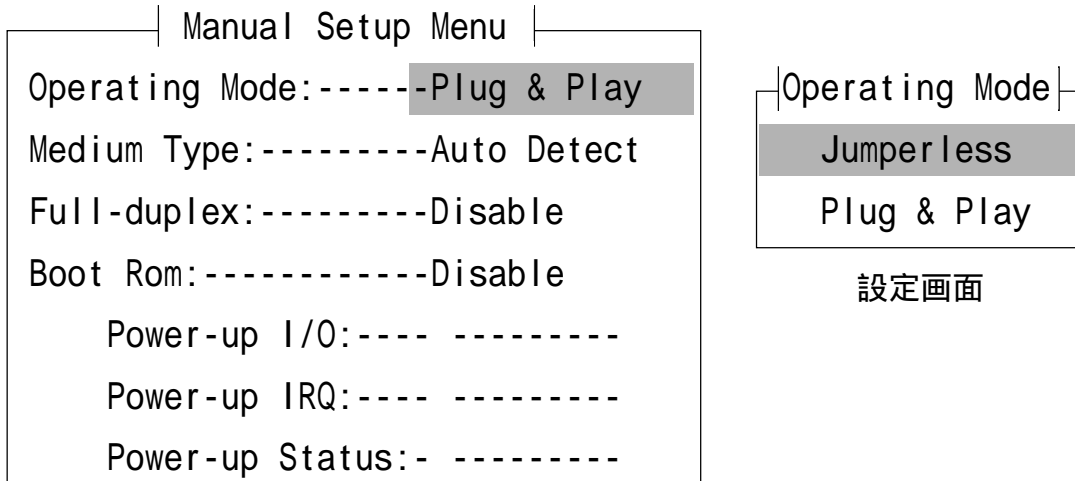
[ ] [ ]キーで“Manual Setup”にカーソルを合わせ[Enter]キーを押します。

```
| Main Menu |  
View Current Configuration  
Default Setup  
Manual Setup  
Diagnose The Adepter  
Run Diagnostics On NetWork  
Exit Setup
```

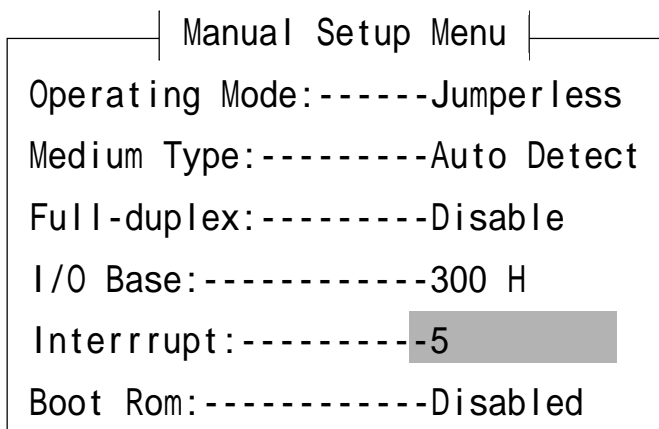
“ Operation Mode ” を “ Jumperless ” に設定します。

“ Operation Mode ”にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押すと、設定画面が表示されます。“ Jumperless ” にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

PL-6700シリーズでWindows®95 使用の場合のみ Plug & Play 対応可能です。



“ Interrupt ” を 5 に変更します。



10BASE-5ケーブルを使用して接続する場合には、“ Medium Type ”を10BASE-5(AUI)に変更して下さい。

[ESC]キーを押し、メニュー画面をぬけます。“ YES ” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押すと設定を保存終了します。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)6613-1101 (代)

F A X (06)6613-5888